

令和5年度 学校評価結果(自己評価・学校関係者評価・最終評価)

A: 十分達成している B: ほぼ達成している C: やや改善の必要がある D: 改善する必要がある

【I 学習指導の充実】				【IV 体力・健康教育・安全教育的の推進】			
No.	質問項目	集計結果 A B C D	評価	No.	質問項目	集計結果 A B C D	評価
1	学習内容の基礎・基本の徹底のため反復学習など学習方法、形態の工夫に努めている。	67% 29% 6%	○	26	児童の体力向上のための、体育授業の充実を図っている。	76% 19% 5%	○
2	「主体的・対話的で深い学び」の観点から習得・活用・探究の学習過程を重視し、課題解決型学習の授業を展開している。	57% 38% 6%	○	27	給食時には、個々に合わせた声かけ等を行い、マニュアルにそった確認を徹底している。担任不在時には、補欠教師、養護、管理職など連携を密にしている。	81% 14% 6%	◎
3	「主体的・対話的で深い学び」の観点から話し合い活動、協働学習等を通して、児童が自らの考えを広げ深めることのできる授業を展開している。	67% 29% 6%	○	28	食物アレルギー等に関する研修を進め、事故の未然防止等にに取り組んでいる。	90% 10%	◎
4	「主体的・対話的で深い学び」の観点から、課題を明確に提示するなど、児童が見通しを持ち学習に取り組むことのできる授業を展開している。	67% 29% 6%	○	29	遊園訓練には、適切な事前指導・事後指導を行っている。	86% 10% 6%	◎
5	「主体的・対話的で深い学び」の観点から、児童が自らの言葉や考え方で学習を振り返り時間を設けた授業を展開している。	33% 52% 14%	△	30	AEDの使い方や設置場所が分かっており、必要に応じて持ち出すなど、児童の安全に配慮している。	90% 10%	◎
6	客観的なデータをもとに学習評価を行い、観点別学習状況から評定を行う等、公平公正な学習評価を行っている。	86% 14%	◎	31	児童の安全には常に留意し、施設・設備の安全点検を行っている。	86% 14%	◎
7	見やすくわかりやすい板書になるよう工夫している。	62% 33% 6%	○	32	交通安全指導については、定期、不定期に適切な指導を行っている。	81% 19% 6%	◎
8	学習者用端末を活用した授業を行っている。	57% 29% 10% 6%	△	33	登下校時について、防災、防災、安全の面から適切に指導を行っている。	81% 19% 6%	◎
9	ALTと連携し、ホームルームティーチャーとして外国語教育を推進している。	71% 19% 10%	○	【V 特色ある教育活動の充実】			
【II 生徒指導・教育相談の充実】				【VI 開かれた学校づくりの推進】			
10	「鴨川小学校10の約束」を実践させている。	48% 43% 10%	○	34	読書活動の推進のため、図書室を積極的に活用したりするなどの読書指導をしている。	48% 38% 10%	△
11	児童の自己肯定感を高め、社会の一員として自覚と責任を認識させるための、集団活動、個別の支援を行っている。	67% 29% 6%	○	35	総合的な学習の時間において、情報活用能力の育成に取り組んでいる。	76% 14% 6%	○
12	保護者と連携した生徒指導のため、保護者との連絡を密に行っている。	57% 38% 6%	○	36	GIGAスクール構想の推進のため、プログラミング教育の理解に努め、プログラミング的思考を高めるための授業改善に取り組んでいる。	67% 24% 9%	○
13	特別の教科「道徳」は年間指導計画（教育課程）に基づき、計画的に行っている。	78% 22% 0%	○	37	児童の情報活用能力の向上のため、ICT機器などを活用している。	76% 19% 6%	○
14	特別活動は年間指導計画（教育課程）に基づき、計画的に行っている。	43% 48% 10%	○	【VII 教職員の働き方改革・マナーアップ】			
15	生徒指導・教育相談部会の内容を共通理解し、学級学年を超えて指導している。	71% 24% 6%	○	42	自分から明るい表情であいさつをしている。	71% 24% 6%	○
16	常に児童の情報共有（学年・学校全体）に努めている。	71% 29% 0%	○	43	行動、言動は適切で、教育公務員として服務の厳正に努めている。	76% 14% 9%	○
17	学級経営、学習指導、道徳教育等あらゆる場面をおし、児童の豊かな心の育成に取り組んでいる。	71% 24% 6%	○	44	交通安全に努め、余裕を持って出勤している。	90% 10%	◎
18	いじめチェックシートを活用し、児童にはいていない指導を行うなど、いじめ根絶と早期解消に積極的に取り組んでいる。	76% 19% 6%	○	45	退勤時刻は常に遅くなることないよう、ゆとりのある生活を送っている。	52% 24% 14% 10%	△
【III 学年・学級経営の充実】				【VIII 学校関係者評価（コメント）			
19	学校教育目標（学年目標・学級目標）を意識した指導・支援を行っている。	57% 38% 6%	○	◎Aが80%以上 ○A+Bが90%以上 △A+Bが90%未満			
20	学年内で共通理解を図り、学年がチームとなって、指導・見届けを行っている。	76% 24% 0%	○				
21	「鴨川小よ子のやくそく」に沿った指導をしている。	67% 29% 6%	○				
22	児童同士のトラブル、人間関係の不調に対する指導には、いじめの可能性のあることを認識して指導している。	90% 10%	◎				
23	児童一人一人が大切な存在であることを意識させた指導・支援を行い、差別を許さない豊かな人権感覚が身につくよう努めている。	86% 14%	◎				
24	hyper-QUIを活用し、集団の中で児童一人一人の存在を理解し、個に応じた指導・支援を行っている。（1・2・のぞみ・ひかり学級を除く）	57% 33% 10%	○				
25	休み時間などは児童の話の聞いたり、ともに行動したりするなど児童の小さな変化を見逃さないよう、児童理解に努めている。	67% 29% 6%	○				

○子供たちが良い評価を示している事は大変良い事だと思います。
○子供たちの豊かな学校生活のためにご尽力いただき、心より感謝いたします。

△先生方の働き方改革が言われている中、子供たちにしわ寄せが行くのではなく、働き方（やり方）の改革や先生方以外でもできること等の分別が必要と感じます。
△学校行事の在り方もいろいろ意見があるかと思いますが、どの行事も子供たちにとって1回だけの行事なので、大人にとっては毎年行っていることかもしれないが、やるときはしっかり取り組んでほしい。
△コロナ禍以前のように教職員がチームを作って子供と活動している姿をもう一度見たいです。
△学校活動に参加したいと考えてくださっている保護者もいらっしゃいます。特に学習支援（体育や書道なども）のボランティアは保護者や地域への働きかけを増やしていただきたいです。
△運動会は時間は短縮であっても全体での開催（全学年が全員そろって見る）に戻ると子供同士の交流や憧れの気持ちを抱く機会になるのではないかと思います。